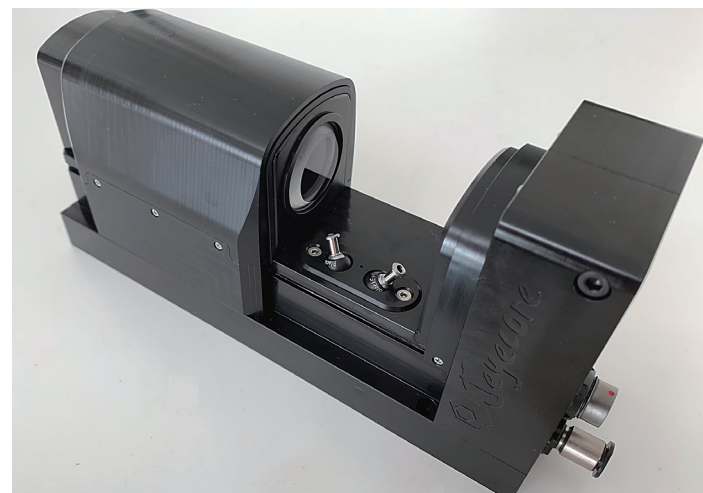


株式会社ジェイネット

ダイナミックツールモニタの汎用化・小型化・量産化

実回転加工数で工具測定

マシニングセンターで金属部品を加工する際、回転工具（主軸）の振れや伸びといったブレによって、出来上がった部品にわずかな誤差が生じるのは避けられない。この症状を極力なくすには、工具がどういった位置関係で加工対象の金属に入っているのか、工具の径や長さを事前に計測することが必要だ。



機上ツールプリセッター「ジェイコア」。外形寸法（長さ）が従来品よりも110ミリ短くなっている

た状態で計測ができる機上ツールプリセッター「Jeyecore（ジェイコア）」を開発した。ジェイコアはマシニングセンターの加工室に設置して工具を組みつけた状態で、しかも実際の加工回転数で計測することができるため、より精

度の高い数値が得られる。高精度測定のもう一つの秘密は画像方式による測定だ。工具を回転させた状態で撮影した画像は、工具の先端部分を取り巻くように半円状の残像が映る。この半円の稜線部分を画像処理することは難しいが、ジェイコアは独自技術で積算処理を加えることで、エッジを際立たせて測定することができるようになった。金属加工で生じる誤差は、現場の職人が長年の経験と勘に基づいて補正を加えているのが実情。しかし技術を持つ職人が引退し、人手不足で代わりになる若手がなかなか育たない中では、ツールプリセッターのような補正装置はさらに重要度を増している。画像方式に比べ、今まで主流だったレーザ方式の機上

工具測定システムはコンパクトなため、同社の自社製品の小型化が課題になっていた。2014年2月、開発に着手し、2015年6月に新機種を発売。現在、年間100台の販売を目指している。

■株式会社ジェイネット

本社：越谷市平方2083-1

代表者：代表取締役 長谷川浩幸

設立：1997年5月

資本金：1200万円

従業員数：5人

電話：048 (973) 1030

メモ▶ジェイコアを主力とする精密機器の製造販売のほか、独自の画像処理技術を使った検査システム、金属表面を劣化、摩耗しにくくする処理なども行っている。